

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

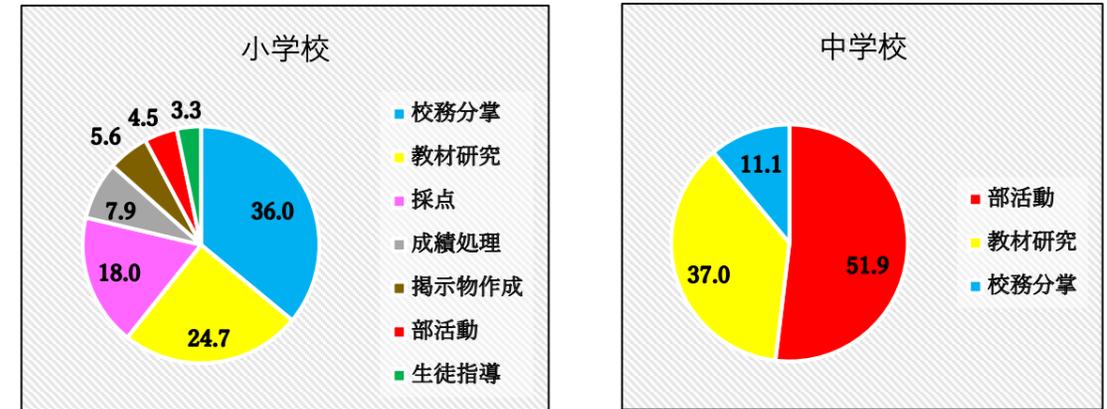
【様式 2】

No. B-5

研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート <small>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</small>		※事務局記入欄 受理No. B-5
【学校名・氏名】 千葉県東庄町立東庄中学校 徳永 義暢		【応募部門】 働き方改革実践部門
【修了研修名】 平成 30 年 第 4 回 中堅教員研修		
【活動名】 とどけ！現場の生の声 ～多忙化解消へ「とりくみを新たに」～		
解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？ 労働に対する考え方を抜本的に見直すための「働き方改革」が社会的に大きな話題となっており、教育現場の長時間労働についても世間に広く知られている。平成 30 年 3 月にスポーツ庁から「部活動ガイドライン」、平成 31 年 1 月には中教審の答申を受け、文科省から「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」、本県教委からも 5 月に「学校における働き方改革推進プラン」が出された。実質的な改革がさらに強く求められている今、より具体的なとりくみを調べ、考え、実施していく必要があると考える。		
目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？ アンケートを実施し、各学校の「働き方改革」の実践を共有し、具体的なとりくみを行うことで、勤務時間が短縮し、多忙化解消につながるであろう。		
活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。 ①「香取地区若手教職員（31 歳まで）対象の時間外勤務内容調査」（平成 29 年 6 月） ②「香取地区教職員対象の部活動調査」（平成 30 年 6 月） ③「本校教職員のタイムカードによる勤務時間調査」（平成 30 年 6 月、令和元年 6 月） ④「働き方改革聞き取り調査」（平成 30 年 6 月～令和元年 6 月）		
活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？ ①中学校の時間外勤務は 51.9%が「部活動」。これが改善されなければ、勤務時間短縮は厳しい。 ②朝の部活動について小学校は 81%、中学校は 62.7%が廃止を望む結果となり、昨年度、香取地区部活動対策委員会にも提示。現場の声を直接届け、今年度、香取地区小学校の運動部と文化部の朝練習が廃止となる大きな資料となった。また、部活動に対して負担感を感じている教職員が小学校は 85.5%、中学校は 73.7%いる現状。まずは中学校の朝練習も千葉県全体として廃止すべき。 ③今年度は最終施錠時間が早くなり、「20 時前に退勤した日が月半数以上」の教職員が 88.5%に増加（昨年度は 46.2%）。会議や事務作業、部活動の時間が減り、個人的にも教材研究や授業準備の時間を「1 週間当たり 2 時間以上増やす」という目標を達成した。 ④各学校での働き方改革について聞き取り調査を行った。他の学校の実践を紹介することで香取地区全体に共有された。6 月に初任者研修の講師を行い、初任者にも他の学校の実践を紹介した。		
〈教職員の声〉 ・「時間の使い方の意識が変わったことで、事務作業の時間が短縮でき、生徒と関わる時間が増えた」 ・「校長先生が多忙化解消に向けて、親身になって共に考えてくれるので、改革が早く、とてもありがたい」 ・「昨年度と比べ早く帰宅する時間が増えたことにより、家族とふれあう時間が増え、多忙感が軽減した」など		
アピールポイント（アイデアや工夫）： ○本校での今年度の働き方改革の内容【今年度から実施されたことにより、勤務時間が激減！】 ・各種会議（職員会議等）の時間や最終下校時刻（5 月～7 月）の短縮 ⇒勤務時間の短縮 ・部活動顧問のローテーション表の作成・実施 ⇒勤務時間の短縮 ・週案や指導案、学級経営案、学年通信等の簡略化 ⇒事務作業の軽減 ・定期テストを 1 日から 2 日に変更 ⇒採点時間の確保		

<グラフ・表添付欄>

①グラフ 香取地区若手教職員対象の時間外勤務内容調査 (%) ※調査人数 116 名



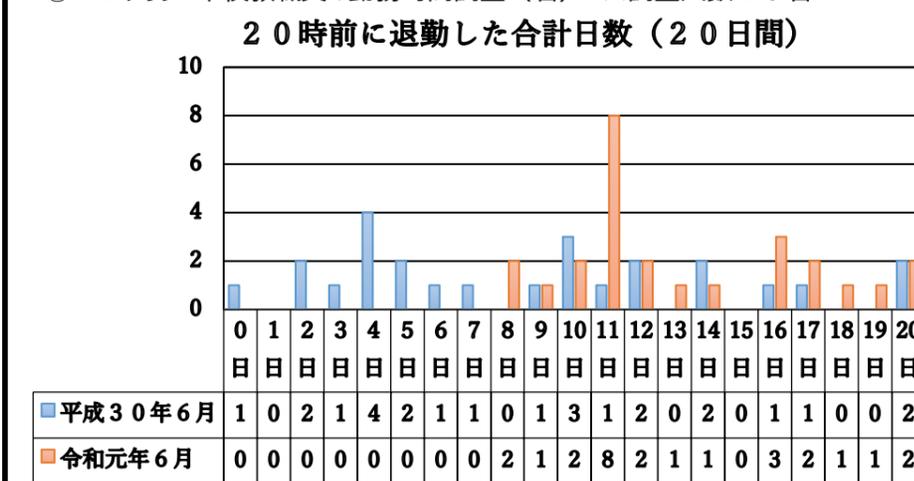
②表 香取地区教職員対象の部活動調査 (%) ※調査人数 500 名

	教職員の負担感		平日の練習時間		朝の部活動			
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校		
感じている	44.1	43.6	減らすべき	56.8	22.9	なくすべき	81.0	62.7
どちらかといふ感じている	41.4	30.1	適当	42.3	62.7	このままが良い	19.0	37.3
どちらかといふ感じない	8.1	16.0	増やすべき	0.9	14.4			
感じていない	6.3	10.3						

③-1 表 本校教職員の勤務時間調査（平日在校時間には、休憩時間 45 分も含む） ※調査人数 26 名

調査月	平日出勤時刻	平日退勤時刻	平日在校時間
平成 30 年 6 月	7 時 07 分	20 時 47 分	13 時 40 分
令和元年 6 月	7 時 30 分	19 時 30 分	12 時 00 分
前年との差	+ 23 分 (23 分遅くなる)	- 1 時間 17 分 (1 時間 17 分早くなる)	- 1 時間 40 分 (1 時間 40 分短縮)

③-2 グラフ 本校教職員の勤務時間調査（名） ※調査人数 26 名



④写真 初任者研修の様子

